

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第7部門第4区分
 【発行日】平成17年9月15日(2005.9.15)

【公開番号】特開2000-139090(P2000-139090A)

【公開日】平成12年5月16日(2000.5.16)

【出願番号】特願平10-311704

【国際特許分類第7版】

H 0 2 P 5/00

G 0 1 P 3/44

G 0 1 P 3/489

G 0 1 S 7/03

H 0 2 P 5/06

【F I】

H 0 2 P 5/00 C

G 0 1 P 3/44 X

G 0 1 P 3/489 A

G 0 1 S 7/03 N

H 0 2 P 5/06 C

H 0 2 P 5/06 R

【手続補正書】

【提出日】平成17年3月24日(2005.3.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

レーダアンテナを回転駆動するアンテナモータの回転数センサ出力をパルス列として生成するアンテナ回転パルス信号発生部と、

前記パルス列を鋸歯状の電圧に変換するF-Vコンバータと、

該F-Vコンバータの出力結果に応じたPWM制御を前記アンテナモータに対して行う駆動信号を作成するモータドライブ部と、を備えてなる、レーダアンテナモータの回転数制御回路。

【請求項2】

レーダアンテナを回転駆動するアンテナモータの回転数センサ出力をパルス列として生成するアンテナ回転パルス信号発生部と、

前記パルス列を鋸歯状の電圧に変換するF-Vコンバータと、

アンテナ回転数の設定値に対応した電圧を出力するアンテナ回転数切替回路と、

アンテナ回転数切替回路の出力をしきい値としてF-Vコンバータの出力との比較結果を出力するコンパレータと、

前記比較結果に応じたアンテナモータの駆動信号を作成するモータドライブ部と、を備えてなる、レーダアンテナモータの回転数制御回路。

【請求項3】

前記パルス列の周波数は1kHz以下である、請求項1または請求項2に記載のレーダアンテナモータの回転数制御回路。

【請求項4】

前記モータドライブは、前記コンパレータの出力を平滑する平滑回路と、10kHz以

上の周波数の鋸歯状波を生成する鋸歯状波発生回路と、平滑回路の出力をしきい値として鋸歯状波発生回路の出力との比較結果をアンテナモータの駆動信号として出力するコンパレータと、を備える、請求項 3 に記載のレーダアンテナモータの回転数制御回路。

【請求項 5】

前記アンテナ回転パルス信号発生部が生成するパルス列は、レーダ信号を直交座標信号に変換する座標変換部へのアンテナ方位信号として兼用される、請求項 1 ~ 4 のいずれかに記載のレーダアンテナのモータ回転数制御回路。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

【課題を解決するための手段】

請求項 1 の発明は、レーダアンテナを回転駆動するアンテナモータの回転数センサ出力をパルス列として生成するアンテナ回転パルス信号発生部と、

前記パルス列を鋸歯状の電圧に変換する F - V コンバータと、

該 F - V コンバータの出力結果に応じた PWM 制御を前記アンテナモータに対して行う駆動信号を作成するモータドライブ部と、を備えてなるものである。

特に、レーダアンテナを回転駆動するアンテナモータの回転数センサ出力をパルス列として生成するアンテナ回転パルス信号発生部と、

前記パルス列を鋸歯状の電圧に変換する F - V コンバータと、

アンテナ回転数の設定値に対応した電圧を出力するアンテナ回転数切替回路と、

アンテナ回転数切替回路の出力をしきい値として F - V コンバータの出力との比較結果を出力するコンパレータと、

前記比較結果に応じたアンテナモータの駆動信号を作成するモータドライブ部と、を備えてなるものである。